

所 属	農政部 畜産課		
担当(係)名	酪農・肉用牛担当	内線	2877

「飛驒牛」認定頭数増加対策の推進

1 背景・現状

「飛驒牛」は、全国的に知名度の高いブランドとして認知されており、県内の和牛子牛、和牛枝肉の市場価格は、ともに全国平均に比べ高い水準を維持している。

しかし、その一方で近年、飼料の高騰や景気後退の影響による和牛枝肉価格の低迷、高齢者経営体の廃業などが進み、「飛驒牛」の認定頭数が減少傾向にある。

2 事業目的

「飛驒牛」の認定頭数を増やすため、和牛肥育牛の生産基盤の強化・安定を図り、「飛驒牛」ブランドの維持・発展を目指す。

3 事業概要

「飛驒牛」の認定頭数を増やすため、その元となる和牛の肥育牛増頭対策を推進するとともに「飛驒牛」生産の担い手の育成を行う。

<和牛肥育牛増頭対策>

(1) 飼養頭数を増やす対策

和牛肥育牛の飼養頭数を増やすため、農業経営基盤強化資金などの融資制度の活用による牛舎建設の促進、廃業農家の牛舎情報の収集と希望者への斡旋、交雑種肥育牛の飼養農家等から和牛肥育牛飼養専門農家への転換の促進

(2) 年間出荷頭数を増やす対策

<(社)岐阜県畜産協会の飛驒牛増産プロジェクト事業>

和牛肥育牛の年間出荷頭数を増やすため、肥育期間短縮に向け、肉質に優れ発育の良い肥育素牛を確保するとともに、技術研修会の開催及び個別農家指導を実施

<飛驒牛増産プロジェクト事業>平成20年度に県が補助し、(社)岐阜県畜産協会が造成した基金を活用した事業

【平成20年度基金造成額】 110,000千円

【基金取崩額】平成21年度：(実績) 15,860千円、

平成22年度：(見込) 24,455千円、平成23年度：(計画) 26,350千円

<担い手育成対策>

(1) 後継者の確保

若手生産者の情報交換の場である岐阜県肉用牛協会青年部の活動に、肉用牛農家の後継者に参加してもらうことにより、就農に向けた意欲の向上を図るとともに同業者のネットワークによる円滑な就農を図る。

(2) 次世代担い手の育成

農業高校生などを対象に、自ら飼養管理した牛を農家の肥育技術などが学習できる共進会へ参加するよう促し、就農意欲の向上を図る。